

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第6学年 「算数（東京書籍）」

123時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1 ・ 2	B (1) ア (4) イ (7)	1. 対称な図形	1-①線対称な図形、対称の軸の概念	1	・(P. 8、9)と合わせて扱う。
			1-②～④線対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方	3	・(P. 10、11)の用語の説明等の学習を工夫する。
			2-①点対称な図形、対称の中心の概念	1	
			2-②～④点対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方	3	・点対称な図形の作図は個別に対応しながら扱う。
			3-①既習の多角形を対称性という観点で見ること	2	
			いかしてみよう		・家庭学習で、色々な形づくりに挑戦させ、形の面白さに触れられるようにする。
			たしかめよう、単元のまとめ等	2	・たしかめようは1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
12時間					
3 ・ 4 ・ 5	A (2) ア (7) イ (7)	2. 文字と式	①数量の大きさを、文字 x を用いた式で一般的に表すこと	1	・(P. 24)は(P. 25)からの内容の中で触れる。
			②～④数量の関係を、文字 x 、 y を用いた式で一般的に表すこと	3	・(P. 28)後半の問題2はつまづきが予想されるため、丁寧に扱う。
			たしかめよう、単元のまとめ等	1	・たしかめようは①～④の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
5時間					
6 ・ 7	A (1) ア (7) (4) イ (9) イ (7) A (2) ア (7) イ (7)	3. 分数のかけ算	1-①②分数に整数をかけることの意味と計算の仕方	2	・(P. 34)と合わせて扱う。
			1-③④分数を整数でわることの意味と計算の仕方	3	・(P. 36)のあみとはるとの考えを扱う。
			3-①～④真分数をかけたときの積と被乗数の関係	4	
			3-⑤⑥分数についても公式や計算法則が成り立つこと	2	
			⑥逆数の意味	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等	1	・たしかめようは1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			13時間		
8 ・ 9	A (1) ア (7) (4) イ (9) イ (7) A (2) ア (7) イ (7)	4. 分数のわり算	①～②分数でわること意味と計算の仕方	3	
			③～⑤整数や帯分数がある除法と商の大きさ	3	
			⑥今日の深い学び	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等	2	・たしかめようは①～⑥の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			①～③分数倍を適用する問題	3	・図や式、数直線を活用しながら考えさせる。
どんな計算になるのかな？	1	・立式の根拠を大切に。計算は家庭学習も利用する。			
13時間					
10 ・ 11 ・ 12 ・ 13	A (2) ア (7) イ (7) C (2) ア (7) イ (7)	5. 比	1-①②比と比の値	2	・(P. 76)と合わせて扱う。
			2-①～③等しい比の性質	3	
			3-①～②比の利用	2	
			たしかめよう、単元のまとめ等	2	・たしかめようは1～3の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
9時間					
10 ・ 11 ・ 12 ・ 13	B (1) ア (7) イ (7)	6. 拡大図と縮図	1-①～④拡大図と縮図	4	・方眼を用いて辺の長さを比べたり、図形の角を切り取って重ねたりするなど工夫する。
			2-①②縮図の利用	3	
			たしかめよう、単元のまとめ等	2	・たしかめようは1～2の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
9時間					
12 ・ 13	B (3) ア (7) イ (7)	7. 円の面積	①～③円の面積の求め方と面積公式	3	・(P. 104)の内容と①を合わせて扱う。
			今日の深い学び	1	・既習の求積可能な図形に分割して考えたり、立式したりするところを丁寧に扱う。
			いかしてみよう	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等	2	・たしかめようは①～③の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
7時間					
	B (4) ア (7) イ (7)	8. 角柱と円柱の体積	①角柱、円柱の体積公式	4	・角柱や円柱の体積の求め方について、直方体の体積の求め方から類推することを扱う。

		5 時間	たしかめよう、単元のまとめ等	1	・たしかめようは①の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
14	B (2) ア (7) イ (7)	9. およその面積と体積	①およその面積	1	・概形を既習の図形と捉えるところを丁寧に扱う。また、概形を捉えることで、既習を生かし、およその面積や体積が求められるよさを感じられるようにする。
			②およその体積	1	
		3 時間	たしかめよう、単元のまとめ等	1	・たしかめようは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
15	A (2) ア (7) イ (7) C (1) ア (7) (イ) イ (7)	10. 比例と反比例	1-①②比例の性質	2	・(P. 136、137)は家庭学習を利用する。
			2-①②比例の式	2	
			3-①②比例のグラフ	3	
			4-①②比例の利用	2	
			5 練習	1	
			6-①②反比例の意味、性質	2	
			6-③④反比例の式、表、グラフ	2	
			たしかめよう、単元のまとめ等	1	
16	D (2) ア (7) イ (7)	11. 並べ方と組み合わせ方	1-①～③並べ方	2	・表や樹形図を用いて調べる活動を入れる。
			2-①組み合わせ方	2	・図、表、式を用いて、落ちや重なりのないように調べる活動を入れる。
			いかしてみよう	1	
			たしかめよう、単元のまとめ等	1	・並べ方と組み合わせ方の違いを整理する。 ・たしかめようは1～2の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
17	D (1) ア (7) (イ) イ (7)	12. データの調べ方	1-①代表値としての平均	2	
			1-②③ドットプロット度数分布表	2	・ドットプロットに表して、散らばりの様子を調べる活動を入れる。
			1-④ヒストグラム	2	・「プログラミングを体験しよう」と関連させて指導してもよい。
			1-⑤⑥統計的な問題解決の方法	2	
			2-①いろいろなグラフの特徴、読み方	2	
			いかしてみよう	1	
18		1 2 時間	たしかめよう、単元のまとめ等	1	・たしかめようは1～2の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
19 ・ 20 ・ 21		13. 算数の学習をしあげよう、考える力をのばそう	①数と計算 ②図形 ③測定 ④変化と関係 ⑤データの活用 ⑥考える方法や表現	14	・児童の実態に応じて問題を精選したり、家庭学習を利用したりしながら工夫して扱う。
		1 4 時間			

※時間数の精選方法（例）

○「算数のしあげ」「考える力をのばそう」は、6 学年の内容終了後に実施する。

- ・6 年生での学習内容を中心に教育課程を編成します。
- ・各単元の学習と関連させたり、休日を利用したりしながら、6 年生の指導内容と並行して扱うことも考えられます。
- ・年度末に一部の単元・問題を選んで実施する場合は、児童の実態を考慮します。

○授業中は学習の動機付けや考えを全体で交流して学びを深める活動に重点をおく。

- ・問題練習や模型の作成等、授業中十分時間をとることのできない内容や活動などは家庭学習を利用します。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

○見方・考え方や学習のまとめ、つながりを大切に単元計画を構想する。

- ・数学的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、単元末の「つないでいこう算数の目」のような活動を参考にしながら授業を計画します。
- ・単元末には学習した内容を使って問題を解決し、単元全体の学習を振り返ります。